



TITLE:

表紙、序、例言、目次、図版目次  
、挿図目次、表目次、奥付

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙、序、例言、目次、図版目次、挿図目次、表目次、奥付. 京都大学構内遺跡調査研究年報 2014, 2011・2012

ISSUE DATE:

2014-03-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/226478>

RIGHT:

# 京都大学構内遺跡調査研究年報

2011・2012年度

京 都 大 学 文 化 財 総 合 研 究 セ ン タ ー

# 京都大学構内遺跡調査研究年報

2011・2012年度

京 都 大 学 文 化 財 総 合 研 究 セ ン タ ー

## 序

本年報は、2011・2012年度に文化財総合研究センターがおこなった、京都大学構内に残る遺跡の発掘調査のうち整理の終了したものについて、その成果をまとめたものである。2件の調査報告はいずれも、医学部附属病院西構内で実施されたもので、近世聖護院村と吉田村の字境界をなす道路・水路の発見など近世の土地開発にかかわる資料や、附属病院創立期に用いられたとみられる特色ある病院食器の報告などを掲載している。ご高覧いただき、ご批評いただければ幸いである。

京都大学吉田キャンパスは、ほぼその全域が周知の埋蔵文化財包蔵地となっている。建物新営などにもとまって、遺跡の内容や規模を明らかにするために、発掘、試掘、立合など記録保存のための調査をおこないつつ、重要遺構の発見されたときには、設計変更など関連部局の協力をいただき、現状保存するなどの処置を講じてきた。当センターの前身である埋蔵文化財研究センターの時代から数えると、すでに35年以上にわたって発掘情報が蓄積され、またそうした情報を利用した研究成果も積み重ねてきた。

こうした情報は、調査時の現地説明会やホームページ、尊攘堂での資料展示などを通して、一般の人に広く知ってもらえるように努めており、本年報もその一端を担っているが、研究成果も含めて、なお十分に情報が発信されているとはいえない面もある。膨大な発掘情報とそれにもとづく研究成果を広く一般に発信し、地域における文化財の研究・活用を先導していくような活動も一層求められてくるものと思われる。すでに、調査・研究面では、総合大学としての利点を生かして、学内の各研究科や研究所などからご協力をいただいております。今後は文化財の活用という面でもご協力をお願いしたい。

終わりにあたり、こうした発掘調査を円滑に進めるにあたっては、施設部をはじめとした関連部局から多大なご協力をいただいている。厚くお礼申し上げますとともに、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます次第である。

2014年3月

京都大学文化財総合研究センター長

上 原 真 人

## 例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で2011年4月1日から2013年3月31日までに発掘、整理作業をおこなった埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学文化財総合研究センターにおける研究成果をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第Ⅵ座標系（日本測地系、 $x = -108,000$   
 $y = -20,000$ ）が（ $X = 2,000$   $Y = 2,000$ ）となる京都大学構内座標により表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良文化財研究所の方式にしたがって、井戸：SE，土坑：SKのよう  
に表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。  
この遺物番号は、本文、実測図、写真を通じて表示を統一した。  
Ⅰ：京都大学病院構内AH12区の発掘調査  
Ⅱ：京都大学病院構内AH15区の発掘調査  
（例 ⅠⅠ：京都大学病院構内AH12区出土遺物1番）
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4、遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のも  
のは、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 参考文献は、本文中に〔著者名 発表年〕の形式で表わし、巻末に一括した。
- 8 古代・中世土師器の型式分類は、とくにことわりがない場合、『京都大学埋蔵文化財  
調査報告Ⅱ』（1981年）にしたがっている。
- 9 本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また、遺物の撮影は、それぞれ報告者が担  
当した。
- 10 編集は、千葉豊が担当し、伊藤淳史、富井眞、笹川尚紀、内記理、磯谷敦子、柴垣理  
恵子、長尾玲、菊地倫世が協力した。

# 京都大学構内遺跡調査研究年報 2011・2012年度

## 目 次

第1章 2011・2012年度京都大学構内遺跡調査の概要 .....	1
1 調査の経過 .....	1
2 調査の成果 .....	1
第2章 京都大学病院構内A H12区の発掘調査 .....	3
1 調査の概要 .....	3
2 層 位 .....	4
3 遺 構 .....	4
4 遺 物 .....	21
5 小 結 .....	64
第3章 京都大学病院構内A H15区の発掘調査 .....	69
1 調査の概要 .....	69
2 層 位 .....	70
3 遺 跡 .....	72
4 大学附属病院関連の遺物について .....	84
5 小 結 .....	92
参 考 文 献 .....	94
京都大学構内遺跡調査要項 .....	97
報 告 書 抄 録 .....	106
図 版 .....	巻末

## 図 版 目 次

- 図版 1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点
- 図版 2 京都大学病院構内 A H12区
- 1 表土除去後, 調査区全景 (南東から)
  - 2 淡褐色土上面, 調査区全景 (東から)
- 図版 3 京都大学病院構内 A H12区
- 1 東南拡張区, 淡褐色土上面検出の遺構
  - 2 溝 S D 1 上層 (南から)
  - 3 東南拡張区, 溝 S D 4・S D 7 (東から)
- 図版 4 京都大学病院構内 A H12区
- 1 道路 S F 1 - 1 (東から)
  - 2 道路 S F 1 - 2 (東から)
  - 3 道路 S F 2 (北から)
- 図版 5 京都大学病院構内 A H12区
- 1 水路 S R 1 上面検出 (北東から)
  - 2 水路 S R 1 上面検出 (西から)
  - 3 水路 S R 1 (西から)
- 図版 6 京都大学病院構内 A H12区
- 1 石列 S X 2 (北西から)
  - 2 水路 S R 1 護岸下部集石 (東から)
  - 3 水路 S R 1 護岸基底部集石 (西から)
- 図版 7 京都大学病院構内 A H12区
- 1 井戸 S E 2 (北から)
  - 2 井戸 S E 3 (東から)
  - 3 井戸 S E 8 (南から)
  - 4 井戸 S E 9 (南から)
  - 5 溝 S D 23 断面 (東から)
  - 6 遺物溜 S X 4 (南から)
- 図版 8 京都大学病院構内 A H12区
- 1 S F 1 - 2 出土遺物, S F 2 出土遺物
  - 2 S X 4 出土遺物, S X 1 出土遺物, S R 1 出土遺物, 黒褐色土出土遺物
- 図版 9 京都大学病院構内 A H15区
- 1 近世遺構 1 (淡褐色土上面検出遺構) 全景 (南から)
  - 2 近世遺構 2 (砂礫上面検出遺構) 全景 (南から)

## 図版10 京都大学病院構内A H15区

- 1 配石 S X 4 (北から)
- 2 流路 S R 1 下層・路面 S F 2 検出 (北から)
- 3 下層集石 S X 3 検出 (北から)

## 図版11 京都大学病院構内A H15区

- 1 表土内附属病院関連陶磁器出土状況 (南から)
- 2 方形重ね物
- 3 緑二重線の円形重ね物
- 4 附属病院関連陶磁器群

## 挿 図 目 次

病院構内A H12区の発掘調査	
図1 調査区の位置……………	3
図2 層位……………	5
図3 第Ⅰ期の遺構……………	7
図4 水路S R 1の層位……………	8
図5 第Ⅱ期の遺構……………	10
図6 井戸S E 3……………	11
図7 第Ⅲ期の遺構……………	15
図8 砂礫上面, S F 1 - 2, S F 2 出土遺物……………	22
図9 S X 4 出土遺物……………	23
図10 S E 9, S D13, S E 2, S E 3 出土遺物(1)……………	25
図11 S E 3 出土遺物(2)……………	27
図12 S E 3 出土遺物(3)……………	28
図13 S E 3 出土遺物(4)……………	29
図14 S X 1 出土遺物(1)……………	31
図15 S X 1 出土遺物(2)……………	32
図16 S X 1 出土遺物(3)……………	33
図17 S X 1 出土遺物(4)……………	35
図18 S X 1 出土遺物(5)……………	36
図19 S X 1 出土遺物(6)……………	37
図20 S X 1 出土遺物(7)……………	39
図21 S X 1 出土遺物(8)……………	40
図22 S X 1 出土遺物(9)……………	41
図23 S X 1 出土遺物(10)……………	42
図24 S X 1 出土遺物(11)……………	43
図25 S D 1, S D 2, S D 9, S D24 出土遺物……………	44
図26 S D 7 出土遺物……………	45
図27 S R 1 出土遺物の取り上げ位置 ……………	46
図28 盛土下部集石, 西盛土下部, 西盛土上部, 東盛土下部, 南盛土, 南東盛土, 北盛土下部出土遺物……………	48



図29	S R 1 埋土下底部直下, S R 1 埋土最下部, S R 1 埋土下部……………49	病院構内 A H15区の発掘調査
図30	S R 1 埋土中部出土遺物, S R 1 埋土上部出土遺物(1)……51	図41 調査地点の位置……………69
図31	S R 1 埋土上部出土遺物(2)……53	図42 西調査区東西畦北面および 調査区北壁の層位……………71
図32	S R 1 埋土上部出土遺物(3)……55	図43 西調査区近世遺構 1 ……73
図33	S R 1 畔埋土下部, S R 1 畔埋土上部, S R 1 埋土上面出土遺物……………56	図44 西調査区近世遺構 2 ……74
図34	S R 1 南肩付近, S R 1 北肩付近, S R 1 東肩付近, S X 2, 黒褐色土 (S R 1 上面) 出土遺物 ……………57	図45 S E 1 出土遺物(1)……………77
図35	砂礫, 淡褐色土出土遺物(1)……59	図46 S E 1 出土遺物(2)……………78
図36	淡褐色土(2), 淡褐色土上面, 灰褐色土, 黒褐色土出土遺物(1)……………60	図47 S E 1 出土遺物(3)……………79
図37	黒褐色土出土遺物(2)……………61	図48 S E 1 出土遺物(4)……………80
図38	表土・攪乱出土遺物……………62	図49 S E 1 出土遺物(5)……………81
図39	土製品……………63	図50 S R 1 出土遺物(1)……………82
図40	『山城国吉田村古図』……………66	図51 S R 1 出土遺物(2)……………83
		図52 S R 1 出土遺物(3)……………84
		図53 S F 1, S X 1, S X 2, S E 2, S E 3 出土遺物……………85
		図54 S F 2, S X 3, S X 4, S D10, S R 2, 淡褐色土, 砂礫層出土遺物……………86
		図55 表土・攪乱層出土遺物(1)……………87
		図56 表土・攪乱層出土遺物(2)……………88
		図57 表土・攪乱層出土遺物(3)……………89
		図58 表土・攪乱層出土遺物(4)……………93

## 表 目 次

表 1	京都大学構内遺跡の おもな調査……………98
-----	---------------------------

2014年3月25日 発行

京都大学構内遺跡調査研究年報  
2011・2012年度

編	集	京都大学文化財総合研究センター
発	行	京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町
印	刷	三 星 商 事 印 刷 株 式 会 社
製	本	京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町300